

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。

しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて「総代会制度」を採用しております。

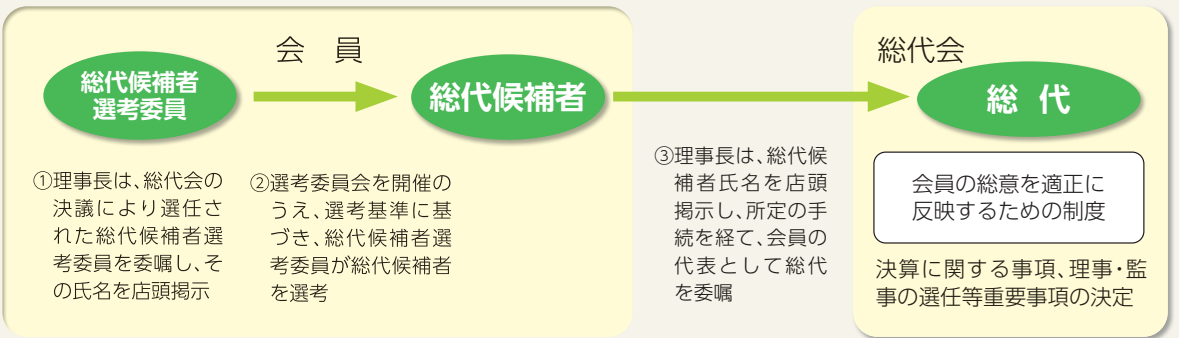
この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、利用者満足度調査や総代懇談会を実施するなど日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代とその選任方法

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



(1) 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
 - 総代の定数は、定款では90人以上190人以内と規定していますが、実際は総代選任規程に100名と定められています。また、選任区域ごとの総代数は、当該区域の会員数に応じて配分されています。
- なお、令和5年3月末現在の総代数は100人で、会員数は26,427人です。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続を経て選任されます。

- ①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

選任区別会員数と総代数 (人)

選任区	会員数			総代数
	法人	個人	合計	
1区	678	6,066	6,744	25
2区	298	3,344	3,642	14
3区	170	2,417	2,587	10
4区	262	2,853	3,115	12
5区	315	4,348	4,663	18
6区	339	3,833	4,172	16
7区	317	1,187	1,504	5
合計	2,379	24,048	26,427	100

年齢別総代数 (人)

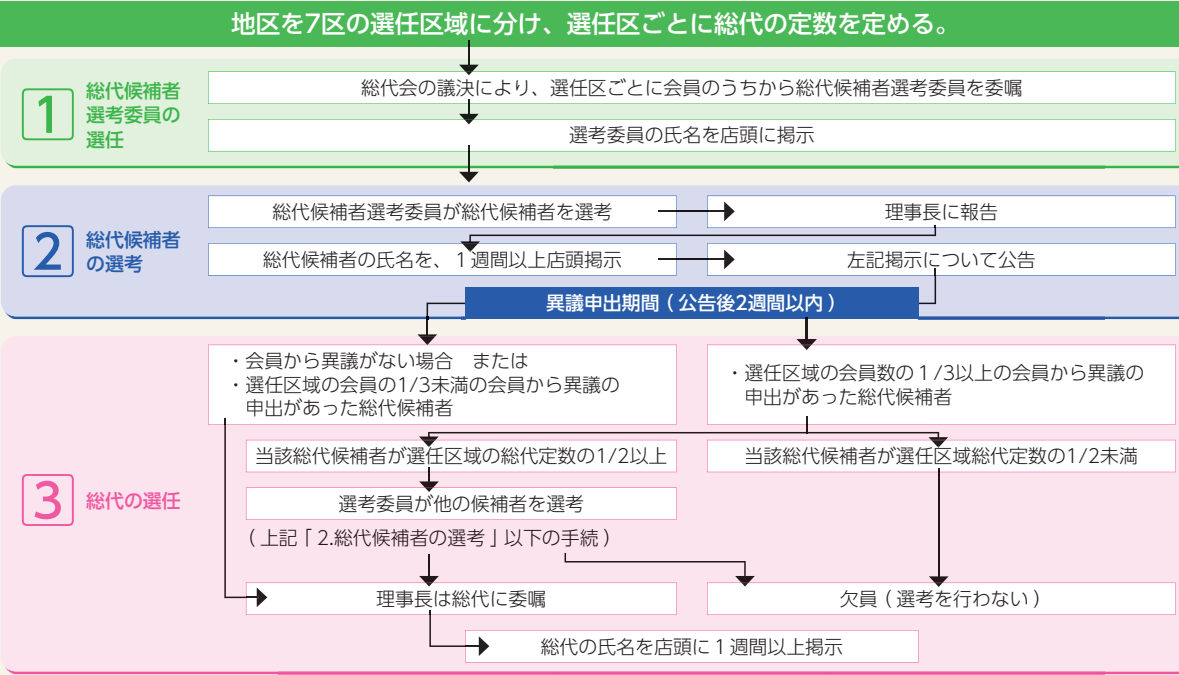
年齢	総代数
30歳未満	0
30～39歳	2
40～49歳	13
50～59歳	39
60～69歳	43
70歳以上	3
合計	100

(令和5年3月末現在)

総代候補者選考基準

- ①資格要件
 - ・但馬信用金庫の会員である方
 - ・就任時点で満70歳を超えない方
- ②適格要件
 - ・総代として相応しい見識を有している方
 - ・良識をもって正しい判断ができる方
 - ・一般会員や預金者等からの信望が厚く、総代として責任感の強い方
 - ・人格、識見に秀れ、当金庫の発展に寄与できる方
 - ・金庫の理念、使命をよく理解し、金庫との正常な取引関係を有する方

総代が選任されるまでの手続きについて



第75回通常総代会の決議事項について

令和5年6月15日開催の第75回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認されました。

- ①報告事項 第74期（令和4年度）業務報告、貸借対照表、及び損益計算書の報告の件
- ②決議事項 第1号議案 剰余金処分案の承認の件
第2号議案 会員の法定脱退（除名）の承認の件

総代の氏名等

(任期 令和4年11月14日～令和7年11月13日)
(50音順、敬称略)

選任区	地 区	総代数	氏 名											
第1区	兵庫県豊岡市(除 旧豊岡市港地区、 豊岡市日高町・城崎町・竹野町・出石町・ 但東町)、京都府京丹後市	25名	池内 資倫②	生駒 敬一⑧	井戸 督⑥	浮田 昌宏⑥	卯野 隆也⑧	遠藤玄一郎⑥						
			岡本 慎二③	小倉 努④	長田 通明⑥	小田 忠之③	衣川 英生⑨	木和田智成⑦						
			小西 晴久③	斉藤 彰⑦	政宏④	竹中 宗明④	津山 貴義⑦	豊嶋 肇⑥						
			服部 清隆⑤	早川 薫④	平野 慎二③	平林 卓也③	山崎 俊幸②	由利昇三郎⑥						
			吉田宗一郎⑧											
第2区	兵庫県豊岡市日高町・城崎町(含 旧豊岡 市港地区)・竹野町	14名	飯田 高治④	太田 義人③	大田垣修二③	垣谷 託司⑥	北見 龍彦④	佐藤 弘樹①						
			田岡 浩典②	高宮 浩之①	田中 律也③	谷本 貴④	西松 伸二④	長谷川冬彦②						
			樋口 雅基⑤	與田 久治⑥										
第3区	兵庫県豊岡市出石町・但東町	10名	榮木 健二④	川嶋 祐紀②	川見 敏之②	齊藤 文昭⑩	田中藤一郎⑤	谷垣洋一郎③						
			永井 秀信②	中村 博信③	平岡 康寛①	福田 嗣久⑧								
第4区	兵庫県美方郡(新温泉町、香美町)	12名	朝倉 富征⑤	池田 宜広①	石井 康裕④	上田真之介①	株本 高志⑤	藏野 恵三③						
			田丸 明人②	田村 昌士③	中井 功④	橋本 勝由⑦	丸上 宗慈④	安田 優二⑥						
第5区	兵庫県養父市	18名	太田垣好孝⑤	岡 清勝④	片岡 篤宏⑧	角野 昭男③	川口 秀昭④	正垣 雅浩③						
			谷 孝之輔③	田村 敏胤⑥	中尾 新⑥	中島 良顕⑥	中野 雅人⑥	西村 正司④						
			平山 敏明④	福田 和起⑧	藤田 英樹①	村上 進一④	八木 敏之⑤	安原 良春①						
第6区	兵庫県朝来市、京都府福知山市	16名	今石 博行③	江草 長史⑥	笠谷 治⑧	片岡 裕喜①	桂野 崇司①	北村 篤④						
			衣川 浩二⑥	小林 忠男③	下村 和彦⑤	富田 秀幸③	豊田 活廣⑤	永田 義典④						
			藤井 啓⑨	藤岡 良彦⑤	藤原 新吾⑧	細見 英作⑦								
第7区	兵庫県姫路市(但し、旧姫路市、旧神崎 郡香寺町、旧飾磨郡夢前町に限る)・ 神崎郡・高砂市・加古川市・揖保郡太子町	5名	井上 賢治③	大野 傳貴①	片山 仁④	永濱 恵悟④	藤岡 昌平②							
			合 計											
		100名												

※氏名の後の数字は総代への就任回数(令和5年3月末現在)

総代の属性別構成比

職業別	法人代表者85%、個人事業主15%
業種別	卸・小売業22%、建設業19%、サービス業17%、製造業16%、個人事業主14%、その他12%

※業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限る。(令和5年3月末現在)